

これからの坂出市の子どもたちの 運動・文化芸術活動について

部活動改革推進協議会・坂出市教育委員会

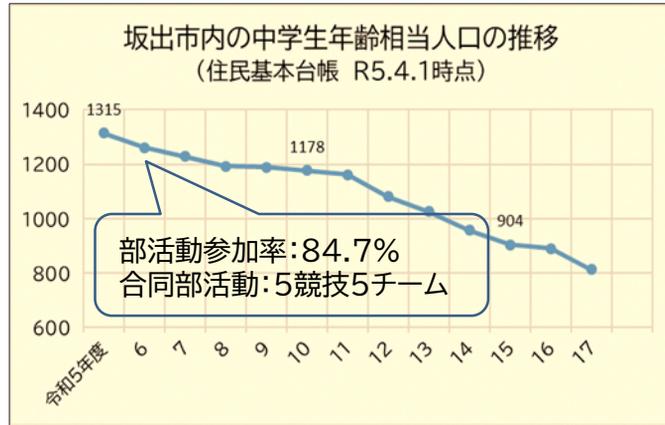
部活動改革のねらい

- ねらい
- 生徒のスポーツ、文化芸術活動に親しむ機会の確保
 - 自主的・主体的な参加による活動を通じた責任感や連帯感の醸成
 - 人間関係の構築、自己肯定感の向上、信頼感・一体感の醸成 など

部活動の現状と課題

- 生徒数の減少によるチーム編成の困難さ、競技・種目の削減
- 専門性が高い指導者の少なさ

担当競技が専門である
顧問の割合:約56.9%



めざす姿

◆生徒にとって望ましい持続可能な活動の機会の確保

- ・ 生徒の希望に合った専門的指導を受けることができる環境整備
- ・ 生徒のニーズや実態に応じた選択肢の提供
- ・ 指導者(顧問の専門性)や学校の状況(生徒数等)によらない持続可能な体制

- 部活動改革推進計画により地域連携・地域移行を進めます。

※ 平日の部活動は当面の間、これまでと同様に実施します。

- 次の①や②の進め方が考えられます。

① 部活動指導員配置型(合同チーム型、拠点校型)

⇒ 休日の活動を部活動指導員が行います(平日も行う場合があります)。

② 地域クラブ型

⇒ 休日の活動を地域におけるクラブが行います。

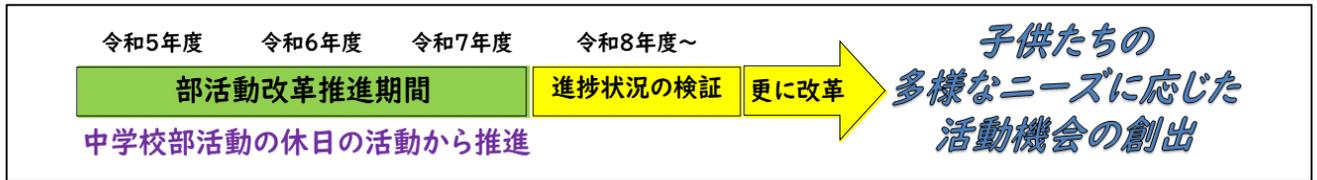
- 坂出市部活動改革推進協議会において、地域移行について

協議・検討を進め、令和8年度以降も引き続き検証し、改革を進めます。

基本方針



部活動改革の進み方



坂出市部活動改革（Q & A）

Q 平日も休日も地域連携・地域移行していくのでしょうか。

A まず、休日における地域連携・地域移行に取り組んでいきます。関係者間で丁寧に調整します。

Q 部活動は続きますか。

A 部活動改革推進期間中は、原則として続きます。進捗状況を検証しながら、令和8年度以降も、新しいスポーツ・文化活動環境への移行を検討していきます。

Q 平日と休日で指導者が変わると、指導方針などが異なり、子どもたちは混乱しないでしょうか。

A 学校と地域クラブ指導員・部活動指導員などが緊密に連携し、指導方針を指導者間で共有します。

Q 活動中に生徒が事故にあったりけがをしたりした際、どこが対応するのでしょうか。

A 学校の管理下で行われる学校部活動での事故等は、学校及び坂出市教育委員会が対応します。地域クラブ活動での事故等の場合は、原則として運営・実施する団体が対応します。

Q 地域クラブ活動として、今までどおり大会に参加することはできるのでしょうか。

A 中学校体育連盟主催大会では、令和5年度から地域クラブの大会参加も可能となりました。競技により条件がある場合もあります。

Q 学校部活動から地域クラブ活動に移行した際、保護者の経済的負担はどうなるのでしょうか。

A 坂出市部活動改革推進協議会等において、子どもたちの活動が経済的負担に左右されないよう、活動費や活動場所、移動方法などについて検討していきます。

Q 地域連携と地域移行の違いは何でしょうか。

A 地域連携は、部活動において、地域の人材を活用した外部指導者の導入など学校で運営・実施しつつ、生徒の活動機会を確保するものです。地域移行は、地域の多様な団体が、学校と連携しながら運営・実施する地域クラブ活動によって、生徒の活動機会を確保するものです。

Q 地域クラブ活動として活動するようになると、学校部活動における達成感やなかまとの一体感など貴重な経験をする機会が少なくなってしまうのではないのでしょうか。

A 学校部活動の教育的意義を、地域クラブ活動においても継承・発展できるよう、関係者間の連携を図り、発達段階やニーズに応じた多様な活動ができるよう進めていきます。

Q 「地域スポーツ・文化クラブ」の運営者、指導者はどのような人ですか。

A 坂出市教育委員会が関与する「地域スポーツ・文化クラブ活動」を運営する団体として、スポーツ競技団体、スポーツ少年団等を想定しています。指導者は、主に、活動を運営する団体に所属する地域指導者で、その中には休日の活動の指導を希望する教員も含まれ、いずれも、資質向上のための研修を受講のうえ、指導を行います。